

平成30年11月9日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

おかげさまで来場者が10万人を突破！ 特別展示『大同生命の源流 “加島屋と広岡浅子”』

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：工藤 稔、以下「大同生命」）は、創業110周年を迎えた平成24年度より、当社の礎を築いた大坂の豪商“加島屋”に関する歴史的文書等を大阪本社（大阪市西区）で一般公開しております。平成27年7月には当社の創業者の一人である広岡浅子に関する展示の拡充など大幅なリニューアルを行いました。本年11月1日にリニューアル以降の来場者数が10万人を突破しましたので、お知らせします。

本年3月には当ビル1階エントランスホールに「広岡浅子」像を建立・展示し、多くの方にご好評いただいております。また、来年1月14日には、浅子の没後100年を迎えますので、この機会にぜひご来場ください。



特別展示「大同生命の源流 “加島屋と広岡浅子”」の入場者が10万人を超え、記念のセレモニーで「小説 土佐堀川 女性実業家・広岡浅子の生涯（潮出版）」などを贈呈。

鳥井 弘枝さん[奈良県、写真中央]が高校時代の同級生を誘って見学にお越しいただきました。

＝2018年11月1日、
大同生命大阪本社ビル

ご来場10万人目に該当した鳥井 弘枝さんからご感想をいただきました。

- ・高校3年生時代の同級女子会で訪れました。栄えある来場者10万人目に該当し、とても幸運です。
- ・特別展示を拝見させていただき、加島屋の大阪商人魂をととても感じました。とくに江戸時代に諸藩の年貢米を有価証券化した「米切手」の部分がとてもわかりやすく、興味深かったです。
- ・大阪の商都としての有様や、大同生命の成り立ちを垣間見ることが出来て、とても勉強になりました。

以上

<特別展示「大同生命の源流 “加島屋と広岡浅子”>

1. 展示の概要

①展示名	特別展示『大同生命の源流 “加島屋と広岡浅子”』 主催：大同生命保険株式会社 後援：大阪市、大阪市教育委員会、大阪商工会議所
②会場	大同生命大阪本社（大阪市西区江戸堀1丁目2番1号）2階メモリアルホール ※地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」下車すぐ（1-A、1-B出口）
③入館料	無料
④展示内容	大同生命の礎を築いた大阪の豪商“加島屋”と、大同生命創業者の一人である“広岡浅子”を大同生命に残る歴史的資料や記録から紹介
⑤開催期間	平成31年3月29日（金）まで
⑥開館時間	火曜～金曜 10:00～17:00（入館は16:30まで） ※月曜日（祝日を除く）は当社解説員による特別展示のガイドツアーを実施（要事前予約・10名以上で予約可能） ＜ガイドツアー予約専用ダイヤル 平日10:00～17:00＞ TEL:06(6447)6263 / FAX:06(6459)1142
⑦休館日	土曜・日曜・祝日、平成30年12月27日（木）～翌1月4日（金） ※その他、臨時休館する場合があります。

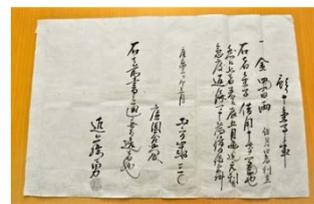
2. 大坂の豪商“加島屋”

江戸時代初期に精米業から身を起こしたと伝えられている「加島屋の歴史」、活躍の舞台であり「世界最先端の金融市場」とも言われた堂島米会所、大名貸しを中心とした「加島屋のビジネスモデル」をご紹介します。また、加島屋が幕府の金融政策に果たした役割、新撰組など歴史上の著名な人物とのつながりなどを、当社に残る資料や記録からご紹介します。

なお、展示会場である大阪本社は、かつて加島屋が店を構えた地です。



▲ 加島屋本宅



▲ 新撰組借用書

3. 九転十起生“広岡浅子”

大同生命創業者の一人、広岡浅子。七転び八起きを超える「九転十起」の精神で実業界に身を投じ、炭鉱・生命保険と多くの事業を手掛けました。

そんな彼女の生涯と活躍をご紹介しますとともに、浅子が日本女子大学創設者・成瀬仁蔵に宛てた直筆の書簡（同大学所蔵資料の複製を展示）から、経営者としての浅子の実像に迫ります。

なお、広岡浅子は平成27年度後期連続テレビ小説「あさが来た」（NHK）のヒロインのモデルとなりました。

▲ 広岡浅子
(1849～1919)▲ 広岡浅子直筆の書簡[複製]
(所蔵:日本女子大学)

[参考] 特設スマホサイト『大同生命の源流 “加島屋と広岡浅子”』

広岡浅子にまつわるエピソード、加島屋のルーツや歴史背景など、当サイトならではの情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

[URL] <http://kajimaya-asako.daido-life.co.jp/>

